

平成29年度当初予算 「清流の国ぎふ」づくりの全開



清流の国ぎふ
ミナモ通信

平成29年度は、節度を保った財政運営と、メリハリのある政策展開を両立していくとともに、「清流の国ぎふ」づくりを一層深化させ、全開していくための積極予算を編成しました。

そして、人口減少が進展する中にもあっても、人を育て、本県の魅力をさらに磨き上げ、地域が活力を維持しながら誰もが安全・安心に暮らすことができる未来の実現に向け、政策を展開します。

■問／県庁財政課 ☎058(272)1130 岐阜県の財政・予算Web 検索 新…新規事業

一般会計予算

8,114億円

対前年度
当初予算比
+0.1%

I.「清流の国ぎふ」を支える人づくり

- 航空宇宙などの成長産業をはじめ、農業、林業などで展開してきた「人づくり」に向けた取組みを、中小企業や観光業、建築業などへ拡充します。
- 仕事と家庭の両立に取り組む企業や、子育て世帯、あるいは女性の活躍への支援を充実し、子どもを生み、育てやすい環境を整備します。
- 若者や女性、障がいのある方から高齢者まで、あらゆる県民が活躍できる社会を実現します。



II.地域の魅力を活かした「清流の国ぎふ」づくり

- 本県が得意とするモノづくりへのIoT導入や、中小企業の成長産業への展開を切れ目なく支援します。
- 優れた県産品や農林畜水産物を磨き上げ、海外市場を含めた新たな販路開拓に取り組みます。
- 豊富な地域資源を一層魅力あるものとし、これらをつなぎ、誘客を強化し、観光産業の基幹産業化を図ります。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、競技力の向上やスポーツを通じた地域活性化、健康づくり、県産品の魅力発信に取り組みます。



III.安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり

- 医療・介護人材の確保を通じ、地域医療・福祉のさらなる充実・連携を図るほか、生活困窮家庭への支援拡大や、健康づくりに向けた取組みを進めます。
- 大規模災害に備え、強靭なインフラ整備を進め、地域防災力の強化を図ります。
- リニア中央新幹線や東海環状自動車道西回りルートなど、未来に向けた幹線ネットワークを整備するほか、本県が誇る豊かな自然環境を守り伝える取組みを進めます。



1.産業を支える人材の育成

- 新「中小企業総合人材確保センター」の開設(1億6,100万円)
- 新観光人材の育成・確保(1,200万円)
- 新「ぎふアグリチャレンジ支援センター」の新設(2,694万円)

2.地域の活力を生む人材の確保

- 新移住定住促進団体を活用した移住定住の推進(900万円)
- 世界に誇る遺産の伝承・保存の推進(1億1,100万円)

3.子育てしやすく女性が働きやすい環境の整備

- 新第2子以降の放課後児童クラブ利用料減免助成制度の創設(2,900万円)

4.教育の充実、文化・芸術の振興

- 新西濃地域における高等特別支援学校の整備(1億2,879万円)

1.「岐阜県成長・雇用戦略」の実行

- 新中小企業のIoT導入を支援する助成制度の創設(5,500万円)
- 企業のモノづくりにおける開発支援拠点の整備(7,250万円)
- 海外デザイナーとの連携による国際見本市への出展(6,044万円)
- 新飛騨牛の販路拡大に向けたインドネシアへの戦略展開(1,710万円)

2.観光・交流産業の基幹産業化の推進

- 関ヶ原古戦場を核とした広域観光の推進(3億2,590万円)
- 新世界に誇る遺産等を活用した集中的な海外プロモーション(1,300万円)

3.未来につながる農林畜水産業づくり

- 鳥獣害対策・ジビエの推進(6億5,864万円)

4.スポーツ立県戦略の推進

- 新御嶽濁河高地トレーニングセンターの整備(1億1,085万円)

1.医療と福祉の充実・連携

- 新若者層のがん等の成育医療相談体制の整備(775万円)
- 新子ども食堂に対する支援(800万円)
- 新大腸がん検診の自己負担無料化の推進(4,900万円)

2.災害に強い県土づくり

- 新熊本地震を踏まえた内陸直下型地震の震度分布解析(820万円)
- 新高病原性鳥インフルエンザの発生を教訓とした事前対策(7,250万円)

3.美しい自然と環境を次代へ引き継ぎ

- 新「山の日」シンポジウムの開催(320万円)
- 新省エネ住宅の建設促進(1億円)

4.ネットワーク・インフラの整備

- 新リニア活用戦略に基づく取組みを支援する助成制度の創設(1,000万円)

県の予算の歳入と歳出

平成29年第1回岐阜県議会定例会に提出した当初予算案をもとに掲載しています。

